

**GUNBOH****群****萌**

第210号 2022年9月12日

発行所 全国化学労働組合総連合

〒105-0021 東京都港区東新橋2-16-1

ルーシスビル402

TEL 03 (6452) 8806

FAX 03 (6452) 8807

発行責任者 寺前 敦司

編集者 化学総連事務局

info03@kagaku-s.com



## ～意外と便利～

全国化学労働組合総連合 会長 寺前 敦司

手話が生活の日常になって、この7月で14年が過ぎた。「手話って耳の聞こえない人だけが使うモノじゃないの」とか、「手話が便利とかいうのは、ちょっと違うんじゃないの」とのご意見があるのは想像に難くない。私も15年前ならきっと同じような印象を持っただろう。しかしながら、外国語と同様で、知っていて損することはなく、「声だけってのは不便だよな」と思う場面に出くわすこともしばしばある。

自粛要請や緊急事態宣言から解放された2022年の夏休み。駅や空港は、帰省客でごった返した。新幹線のホームでは、見送りの人が車内にいる人にホームから大きな声で話しかけるのだが、サイドガラスとはいえ時速300キロでの走行を可能とする厚みを乗り越えて空気を震わせるほど、大きな声をだせるはずもない。一部の地方空港では、保安検査を通り過ぎた人と見送りに来た人が、大きなガラス越しにお互いの姿を見ることが出来るのだが、防音ガラスになっているようで、声を張り上げても伝わらない。そこで、思わず広げた手を振る。バイバイ、じゃあね。それ、手話なんです。手話が便利な瞬間は、意外と身近にある。

コロナ禍にあっても、対面の会議は無くならない。和気あいあいとした会議であれば、その場で声をかけられるが、口の字や二の字の形など少しあらたまった場では、声を出すことが躊躇される。でも、そんな時に限って、どうしても向かいの人に伝えたいことがある。そこで、異次元の速さでメールを書いて送信するのだが、残念ながら無反応。相手のスマホは鞆の中で、重要なのは中身よりも、「メール送った」と伝えることだったと知る。口をパクパク動かしたら伝わると言うかもしれないが、「メ」「ル」は「え」「う」と口の形が同じなので、同音異義語は多数ある。そのことを、手話なら二つの動きで伝えられる。

会議を電話でする方法は流行らなかったのに、朝から晩までビデオ会議をばしごするようになった今日。チャット機能である人、この人、または全員にと自由に意見を伝えられるため、手話の出番は不要と思われるかもしれない。ただ会話機能に着目すると、会議を通じて大きな声がより拾われ、小さな声はより拾われなくなった。気が付けば、何人かのジャイアンと、その他大勢ののび太くんやしずちゃんという構図だ。ビデオを切って、あやとりしたりお風呂に入ったりしたくなるのも無理はない。手話の場合、声の大きさによる序列がないので、全員が同時に画面上でうなずいて、ツッコミを入れることができる。同時に会話ができて便利ではあるが、ビデオ

を切って参加できないことを嘆く人もいるかもしれない。

また最近では感染症の拡大を抑える目的で、ホテルやコンビニなど、対面で話をするカウンターに、透明の遮蔽物のある風景が当たり前になった。「お会計は7896円です」と言われ、二度三度と値段を聞き直した経験のある人は少なくないだろう。そして聞くのである、「九十、いくつ」と。そんなやり取りを数回するうちに、相手はあきらめて、右手を広げて「5」、左手の人差し指を立てて「1」。合わせて「6」。流石に伝わる。手話って便利でしょ、と言いたいとこだが、これは手話ではない。手話なら片手で「6」を伝えられるし、「7896」も片手で構わない\*1。

手話は手だけで会話をしていると思われるかもしれないが、顔の表情や体の動きと合わせて意思を伝えている。手話は英語でサインランゲージと訳され、ハンドランゲージとは言わない。サインはご存知の通り、スポーツの世界で多用されており、特に野球はサインだらけである。キャッチャーは球種とコースをピッチャーにサインで伝え、送りバントもダブルスチールもヒットエンドランもサインの賜物だ。敬遠のサインがベンチから出ることは、40年近くも前に歌になった\*2。こっそり伝えたい時は、手話が効く。

意外と便利な手話だが、メジャーな存在とは言い難い。SPEEDメンバーで参議院議員の今井絵理子氏、後任に大御所ジャニーズの三宅健氏を擁するEテレ「みんなの手話」は、朝ドラにはまだ勝てない。2022年米国アカデミー賞の作品賞を含む3部門に輝いた「コーダあいのうた」は主な言語が手話という稀有な作品だが、CODA\*3な娘の葛藤と成長に涙する物語である。そんな中、2022年7月3日の日本経済新聞では「When Hands Tell More Than Words」と題した手話の特集を組んだ\*4。声はなくても賑やかで、豊かな表現が手話の世界にあることを伝えている。そこに掲載された4枚の写真の中で、黒縁の眼鏡をかけた白いマスクの中学二年生は、右手の親指と人差し指で輪を作り、残りの三指をたてて作った「め」の指文字\*5を、前に出している。それは「メールする」という手話で、写真を見ても何を喋っていたのかがわかる。そんな声にはない便利さで、手話は満ち溢れている。

\*1,5 NHK手話CGサイトが詳しい

\*2 サウスボー(作詞:阿久悠、作曲:都倉俊一(1978))

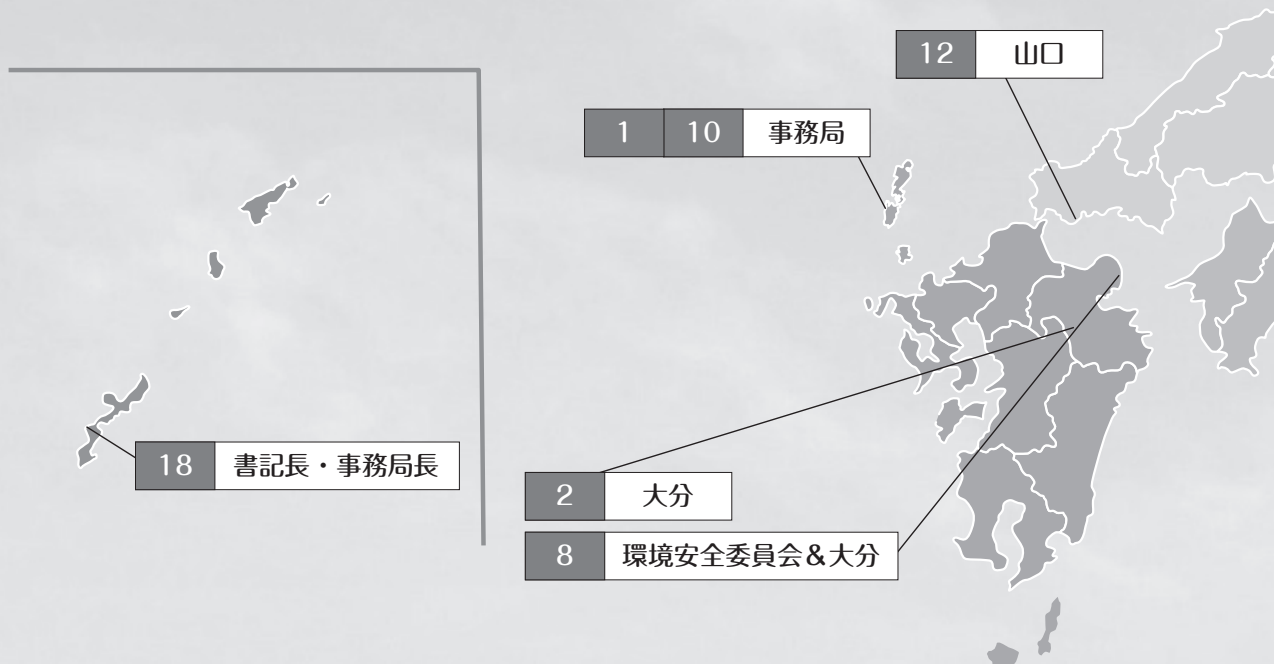
\*3 Children of Deaf Adultsの略で、聾の両親を持つ聴こえる子どもを指す

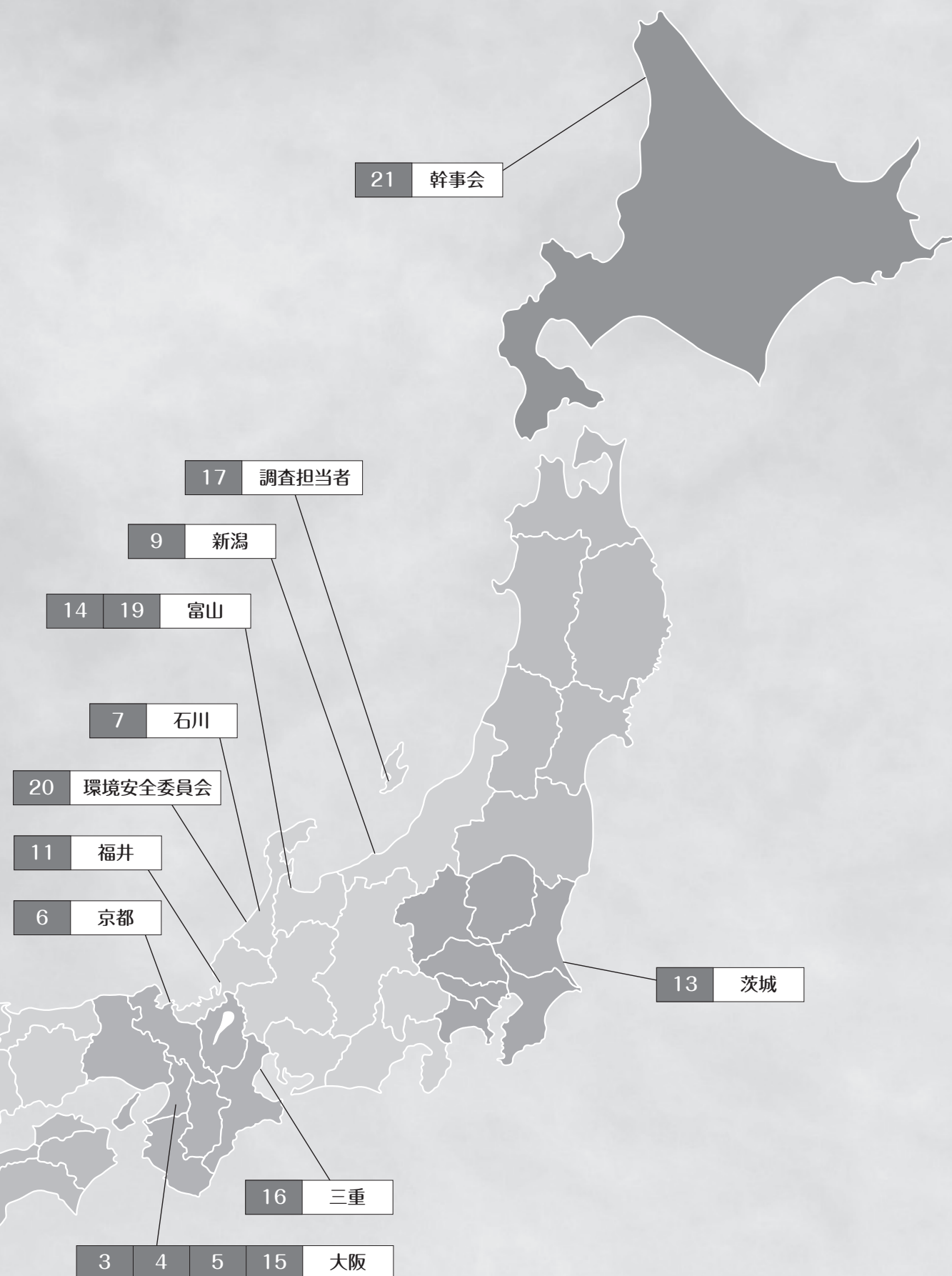
\*4 NIKKEI The STYLE 電子版は  
2022年7月8日14:00配信



## 清掃ボランティアの実施状況

| No. | 地連等            | 実施日                  | 場 所 等                                 | 参加者  |
|-----|----------------|----------------------|---------------------------------------|------|
| 1   | 事務局            | 2021 年 11 月 15 日 (日) | 第 5 回対馬海岸清掃ボランティア<br>(一般社団法人対馬 CAPPA) | 20 名 |
| 2   | 大 分            | 11 月 20 日 (土)        | 大分国際車いすマラソンコース沿道                      | 22 名 |
| 3   | 大 阪            | 12 月 23 日 (木)        | 西区築港新町周辺道路                            | 8 名  |
| 4   | 大 阪            | 2022 年 2 月 8 日 (火)   | 積水化学水無瀬事業所前                           | 9 名  |
| 5   | 大 阪            | 4 月 9 日 (土)          | 泉北臨海緑地                                | 4 名  |
| 6   | 京 都            | 4 月 23 日 (土)         | 若狭和田ビーチ                               | 12 名 |
| 7   | 石 川            | 5 月 21 日 (土)         | 小舞子海岸                                 | 18 名 |
| 8   | 環境安全委員会<br>大 分 | 5 月 23 日 (月)         | 黒津崎海岸                                 | 15 名 |
| 9   | 新 潟            | 5 月 28 日 (土)         | 上下浜海岸                                 | 22 名 |
| 10  | 事務局            | 6 月 6 日 (月)          | 第 6 回対馬海岸清掃ボランティア<br>(一般社団法人対馬 CAPPA) | 22 名 |
| 11  | 福 井            | 6 月 11 日 (土)         | 河野海水浴場                                | 34 名 |
| 12  | 山 口            | 6 月 12 日 (日)         | 白土海水浴場                                | 30 名 |
| 13  | 茨 城            | 6 月 25 日 (土)         | 日川浜海岸                                 | 56 名 |
| 14  | 富 山            | 6 月 25 日 (土)         | 国分浜海岸                                 | 7 名  |
| 15  | 大 阪            | 6 月 25 日 (土)         | 大阪モノレール南摂津駅周辺                         | 15 名 |
| 16  | 三 重            | 7 月 3 日 (日)          | 吉崎海岸                                  | 21 名 |
| 17  | 調査担当者会議        | 7 月 5 日 (火)          | 七浦海岸                                  | 19 名 |
| 18  | 書記長・事務局長会議     | 7 月 14 日 (木)         | 神山島                                   | 14 名 |
| 19  | 富 山            | 7 月 16 日 (土)         | S D C 富山工場付近                          | 16 名 |
| 20  | 環境安全委員会        | 7 月 31 日 (日)         | 手取川河口                                 | 3 名  |
| 21  | 幹事会            | 8 月 21 日 (日)         | 稚咲内海岸                                 | 19 名 |





**のべ 386 名の方々にご参加いただきました。  
皆様のご協力、誠にありがとうございました。**

1 事務局（第5回対馬海岸清掃ボランティア）



2 大分地連（大分国際車いすマラソンコース沿道）



3 大阪地連（西区築港新町周辺道路）



4 大阪地連（積水化学水無瀬事業所前）



5 大阪地連（泉北臨海緑地）



6 京都地連（若狹和田ビーチ）



7 石川地連（小舞子海岸）



8 環境安全委員会&大分地連合同（黒津崎海岸）



9 新潟地連（上下浜海岸）



10 事務局（第6回対馬海岸清掃ボランティア）



11 福井地連（河野海水浴場）



12 山口地連（白土海水浴場）



13 茨城地連（日川浜海岸）



14 富山地連（国分浜海岸）



15 大阪地連（大阪モノレール南摂津駅周辺）



16 三重地連（吉崎海岸）



17 調査担当者会議（七浦海岸）



18 書記長・事務局長会議（神山島）



19 富山地連（SDC富山工場付近）



20 環境安全委員会（手取川河口）



21 幹事会（稚咲内海岸）



# 化学総連活動報告

## 【幹事会・群馬地連との情報交換】

地連担当役員の寺前会長より挨拶をいただいた後、意見交換を実施しました。

情報交換では化学総連の活動をより身近に感じてもらうため、対象範囲を組合員に拡大することや、Web環境に慣れてきたことから頻度を上げることで活性化を図りたいなど活発な情報交換ができました。情報交換でいただいた意見・要望については、事務局としても鋭意検討し今後の地連活動の活性化に繋げていきたいと思います。



開会挨拶する寺前会長



発表する三村氏(デンカ労組)



発表する落合氏(信越化学労組)



発表する青木氏(昭和電工ユニオン)

|      |               |     |              |
|------|---------------|-----|--------------|
| 日 時  | 2022年5月20日(金) | 場 所 | ホテルメトロポリタン高崎 |
| 参加人数 | 36名(Web併用)    |     |              |

## 【第2回地連代表者会議】



Web参加者の様子

会計監査の実施依頼、各地連の活動状況、Web会議用機器の貸し出し、ファイル共有サービスの導入、テーマアップアンケートの結果、次年度の進め方を説明し共有化を図りました。

また、ボランティア活動については新型コロナウイルス感染状況を考慮した上で、活動して欲しい旨を周知しました。



質問する松隈氏(昭和電工ユニオン)



質問する長井氏(DIC 労組)



質問する松森氏(カネカ労組)

|      |               |     |                |
|------|---------------|-----|----------------|
| 日 時  | 2022年5月27日(金) | 場 所 | 新大阪ワシントンホテルプラザ |
| 参加人数 | 29名(Web併用)    |     |                |

# 化学総連活動報告

## 【第6回対馬海岸清掃ボランティア】



清掃前の海岸の様子



大きな発泡スチロールが沢山あります



大きなゴミが漂着しています



ゴミの仕分け作業の様子



対馬CAPPAスタッフ 松井氏



集合写真 今回も沢山のゴミを拾いました

2019年6月に初訪問してから6回目となる対馬海岸清掃ボランティアを実施しました。今回も一般社団法人対馬CAPPAの協力を得て状況確認と清掃活動を行いました。清掃前にスタッフの松井さんより、海洋プラスチックの現状について説明をいただいた後、清掃活動を実施しました。今回の海岸清掃では、発泡スチロール、ペットボトル、ポリタンク、漁業用ブイを中心に回収を行いました。回収したゴミは減容・ペレット化し島内でサーマルリサイクルとして活用されています。約1時間の作業ではありましたが、フレコンバックで約10袋を回収しました。しかし、清掃後の海岸にはゴミが残っており、改めて海洋プラスチック問題の深刻さを痛感しました。

**日 時** 2022年6月5日(日)～6日(月) **場 所** 対馬市浅茅湾、厳原町上槻海岸 **参加人数** 22名

## 【第9回海岸林再生ボランティア】

公益財団法人オイスカの海岸林再生プロジェクトのボランティアを3年ぶりに行いました。

作業に入る前に結団式を行いオイスカの吉田さんより、「マツの成長を促進するためには水はけが良い環境を作ることが重要であり、今回は水はけを良くするために穴を掘って水路を作る「溝切り」という重要なミッションを行ってまいります。」と作業の目的・内容について説明をいただき参加者の士気を高めました。

スコップやつるはしを持っての慣れない作業で重労働ではありましたが、全員で力を合わせて作業に打ち込みました。その結果、面積としては約1ha(サッカーコートで例えると1.4面)を仕上げました。我々が掘った溝が辺り一帯に広がっており、クロマツの育成に貢献することができました。



作業の目的を伝えるオイスカの吉田氏



溝切り作業の様子



1日目作業完了後の集合写真



スコップの他につるはしを使用しました



きれいに溝切りができました



2日目作業完了後の集合写真

**日 時** 2022年6月10日(金)～11日(土) **場 所** 宮城県名取海岸 **参加人数** 10日(金)48名、11日(土)43名

## 【次世代エネルギー関連施設見学】



説明を行う一般社団法人  
まちづくりなみえの菅野氏



福島水素エネルギー研究フィールド全体



福島水素エネルギー研究フィールドを  
背景に集合写真

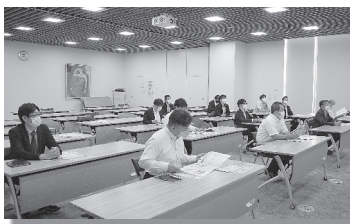
エネルギー・税制委員会主催にて、福島県にある2つの施設の見学を行いました。1つ目は浪江町にある福島水素エネルギー研究フィールドです。この施設では敷地内に設置した太陽光発電による電力で水の電気分解を行い、水素を製造し貯蔵・供給しています。水素はカーボンニュートラルに向け注目されているものの製造、輸送、使用において課題があります。福島水素エネルギー研究フィールドや浪江町のとりくみから、水素社会の実現に寄与したいとの強い想いが感じ取れました。

2つ目は郡山市にある福島再生可能エネルギー研究所です。脱炭素社会の実現に向け、世界は大きく動いており、再生可能エネルギーに寄せられる期待は高まっています。福島再生可能エネルギー研究所ではエネルギーに関わる世界最先端の研究と、新しい産業の集積を通じた震災からの復興支援という2つの大きなミッションを掲げて2014年に設立されました。設立以来、研究チームの再編などもありましたが、現在は水素・太陽光・地熱・風力・電池など9つのチームで研究が進められています。

当日は概要説明の後、見学を行いました。展示物について研究の課題や今後の展望などわかりやすく表示しており、また実物大の模型を設置するなど9つの研究テーマの活動について理解を深めることができました。福島再生可能エネルギー研究所の見学から、世界のイノベーションの中心としてまた独創的なエネルギー技術を福島から発信するという強い意志が感じ取れました。



説明を行う福島再生可能エ  
ネルギー研究所の菅原氏



受講の様子



屋上から説明を受ける参加者の皆さん

|             |                                 |            |            |             |     |
|-------------|---------------------------------|------------|------------|-------------|-----|
| <b>日 時</b>  | 2022年6月20日(月)～21日(火)            | <b>場 所</b> | 福島県郡山市、浪江町 | <b>参加人数</b> | 14名 |
| <b>施設見学</b> | 福島水素エネルギー研究フィールド、福島再生可能エネルギー研究所 |            |            |             |     |

## 【2022年度イノベーションワークショップ開催報告】

去る6月24日(金)、人と技術の未来研究会主催の「2022年度イノベーションワークショップ」を開催しました。

イノベーションワークショップは、企業活動の将来の一端を担っている研究開発に従事する皆さんの日頃のご苦労やプレッシャーに対して、少しでもヒントやモチベーション向上になるような場や情報を提供し、会社での業務効率化につなげていただくことを目的に開催しています。今回は4回目の開催となり、加盟各単組から11名の方に参加いただきました。

化学総連の寺前会長より開会の挨拶をいただいた後、人と技術の未来研究会の藤村委員長(三洋化成工業労働組合 中央執行委員長)より化学総連および人と技術の未来研究会の活動について紹介いただきました。

その後、MI-6株式会社 代表取締役社長 木寄基博様に「材料開発のDXに必須となるマテリアルズ・インフォマティクス(MI)について」と題してご講演いただきました。講演では、「DXとMIが注目されているのは、重要技術戦略の実現にはマテリアルの革新が不可欠であるから。」ということ皮切りに、実際の導入事例も交えながら、MIの現状についてわかりやすくお話いただき

ました。中でも特に印象に残っているのは、競争を勝ち抜くためにMIは「有利な手段」から「必然の手段」へと一層MIの活用が促進されていくことと思います。また、DX・MI活用を実現するためには、スモールサクセスを積み重ねることが重要であり、推進者が中心となって組織全体のMI推進を活性化する必要があるというお話を聞き、全員が自分事として捉えて対応することが重要であるということを感じました。



人と技術の未来研究会  
司会を務める加藤副委員長



人と技術の未来研究会  
藤村委員長による活動紹介



化学総連 寺前会長による開会の挨拶

今回の講演前にはMIに関して漠然としかわかっておりませんでしたが、講演を聞き、少しはイメージができるようになるとともに、今後企業の発展にはMIは必要不可欠なものであることを痛感しました。



講演を行うMI-6株式会社  
代表取締役社長 木寄氏



講演中の会場全体の様子



質問するクマール執行委員  
(カネカ労組 高砂支部)

講演後は、研究開発の活性化、効率化に向けた施策の情報交換や意見交換を通じて、参加者が現業で抱える悩みを解決するヒントを得ることを目的に分科会を行いました。他社の研究者と交流する機会はめったにないため、話は盛り上がり、大変有意義な分科会となりました。



分科会の様子



分科会後の発表の様子



人と技術の未来研究会  
村田委員による閉会挨拶

今回のワークショップは3年ぶりに完全対面で実施したこともあり、講演会・分科会ともに活発な意見交換ができました。コロナ禍により、WEBの活用が一気に進みましたが、改めて対面の活動の重要性を認識できたいい会となったと考えております。講師の木寄社長、企画や運営に携わっていただいた皆様、当日ご参加いただいた皆様、全ての皆様にこの紙面をお借りして御礼申し上げます。本当にありがとうございました。

今後も「化学総連ならではの活動」に引き続き取り組んでいきたいと思っております。

## 講師プロフィール

2012年京都大学卒業後、ITベンチャー企業に入社し、主に事業開発として、クラウドソーシング事業の立ち上げやマイクロタスク型クラウドソーシングを活用したビッグデータのクレンジング業務等に従事。マザーズ上場貢献後、2015年オリックス株式会社、2015年にモバイク・ジャパン株式会社のGM代理を経て、同年に、「材料開発とデータサイエンスのHuBとなり、研究者のポテンシャルを解き放つ」というミッションを達成するため株式会社MI-6を起業され、代表取締役社長に就任された。



木寄 基博氏

## 【第13回安全担当者会議】

施設見学としてデンカ千葉工場と三井化学市原工場を訪問しました。概要説明後に安全の取り組みと安全施設の見学の他、車窓からの工場見学を実施しました。安全の取り組みでは活発な意見交換が行われ各労組での安全活動の一助に繋がりました。

分科会では4班にわかれて実施しました。内容としては事業所安全衛生委員会の活性化と今年度より実施している労働災害情報の共有について実施しました。事業所安全衛生委員会の活性化では組合側が発言しやすいような環境の整備やグッドプラクティスを共有し表彰しているなどが挙げられました。労働災害情報の共有については、重大な労災について安全担当者会議で深掘りしたい、担当者同士が個別で情報交換できる関係構築や環境を整えてほしいなど意見・要望をいただきました。意見・要望については今後、環境安全委員会と事務局で検討し対応していきたいと思います。



デンカ千葉工場での集合写真



三井化学市原工場での集合写真



分科会で発表する阿波氏  
(日本板硝子労組)



分科会で発表する江木氏  
(ダイセル労組)



分科会で発表する藪田氏  
(信越化学労組)



発表する森本氏(左)、寺岡氏(右)  
(AGC労組、JNC労組)

|      |                          |     |                  |
|------|--------------------------|-----|------------------|
| 日 時  | 2022年6月28日(火)～29日(水)     | 場 所 | 五井グランドホテル(Web併用) |
| 施設見学 | デンカ千葉工場、三井化学市原工場(現地参加のみ) |     |                  |
| 参加人数 | 28日(火)22名、29日(水)23名      |     |                  |

## 【第101回調査担当者会議】

2022春季労使交渉に関する情報交換等の他、2023年度テーマアップアンケート共有、労働条件基本台帳の改善点、2023年度の活動予定を共有し、質疑応答も含めて活発な議論が行われました。2022春季労使交渉では、定年延長・再雇用制度の労使議論が目立ちました。

施設見学は佐渡金山を訪問しました。佐渡金山は400年近くに及ぶ歴史があり、日本最大の金銀山として日本作業の近代化に貢献しました。平成元年(1989年)に資源枯渇のため閉山となりましたが、400年に亘る先人たちの営み、鉱山技術や生産システムの変遷を見ることができました。

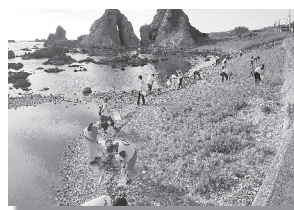
海岸清掃は佐渡島の西海岸に位置する七浦海岸で実施しました。西海岸なので海流から予想すると多くの漂着ごみがあると見込んでいましたが予想は的中。大きな発泡スチロール、漁業用ブイ、ペットボトルが沢山ありました。当日は気温30℃を超える環境でしたので短時間の清掃としましたが、多くの漂着ごみを回収することができました。



発表する佐内さん  
(日本ゼオン労組)



会場の様子



海岸清掃の様子



海岸清掃集合写真



佐渡金山のスケールに圧倒される面々



北沢選鉱場跡での集合写真

|      |              |      |                          |
|------|--------------|------|--------------------------|
| 日 時  | 2022年7月6日(水) | 場 所  | 国際佐渡観光ホテル(新潟県)21名(Web併用) |
| 海岸清掃 | 七浦海岸 19名     | 施設見学 | 佐渡金山                     |

# 化学総連活動報告

## 【第52回労使懇談会】



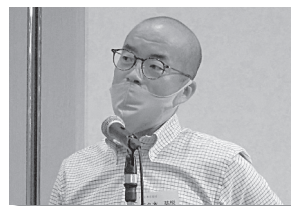
開会挨拶する瓜生氏  
(AGC労組)



講演する太田氏  
(株式会社はぴテックCEO兼CHO)



会場の様子



質問する佐々木氏  
(AGC株式会社労務担当部長)



質問する村田氏  
(カネカ労組)



開会挨拶する竹内氏  
(日本ゼオン労組)

3年ぶりの開催となった労使懇談会は加盟単組代表者及び人事・労制部長クラスと日化協・石化協の方々をお招きし総勢42名が参加しました。講演では株式会社はぴテック CEO兼 CHOの太田雄介氏より『化学総連 幸福度診断結果から見る幸せな組織作り』と題してご講演をいただきました。業種別・年代別・化学総連における幸せの4大要素について課題を共有し、今後の取り組みとしては業界全体、労使協働で幸せに取り組むことを提言いただきました。

今回、幸福度診断にご協力いただいた加盟単組組合員の皆さんに感謝申し上げます。本当にありがとうございました。結果については8月24日に各単組の担当者役員へフィードバックを行いました。化学総連全体の結果と解析については改めて群萌にて報告させていただきます。

|      |                |
|------|----------------|
| 日 時  | 2022年7月8日(金)   |
| 場 所  | 品川プリンスホテル(東京都) |
| 参加人数 | 42名(Web併用)     |

## 【第3回書記長・事務局長会議】

「働き方改革→オフィス改革の取り組み」として日本ゼオン労組の一條書記長より事例紹介をいただきました。その他、2023年度テーマアップアンケートの共有と2023年度の活動予定について共有を行い、質疑応答も含めて活発な議論が行われました。テーマアップアンケートから「人材の育成」、「業務効率化」などが挙げられ2023年度の活動の参考にしていきたいと思います。

海岸清掃は、美ら海振興会のご協力の下、神山島（無人島）に上陸し清掃活動を行いました。酷暑ということもあり短時間ではありましたが多くの漂着ごみを回収することができました。



会場の様子



事例発表を行う一條氏  
(日本ゼオン労組)



質問する岩満氏  
(JSR労組)



酷暑の中、清掃活動に汗を流す山澄氏 (JNC労組)



仕分け作業の様子



美ら海振興会の皆さんと清掃活動後の集合写真

|     |                                            |
|-----|--------------------------------------------|
| 日 時 | 2022年7月14日(木)                              |
| 場 所 | 那覇空港ミーティングルームD(沖縄県)20名(Web併用) 海岸清掃 神山島 14名 |